

民事訴訟の理論と実務



著者 : 伊那簡易裁判所判事 三好一幸
 定価 : 本体 2,528 円+税
 判型 : B5 判
 ページ数 : 218 ページ(本文 175 ページ)
 ISBN : 978-4-906929-41-2
 発行 : 平成 27 年 9 月
 日本図書館協会選定図書

内容

本書は、[簡易裁判所の刑事事件に関する「理論と実務」シリーズ](#)3部作を書き下ろした著者が、民事事件の理論編から審理編に至る手続毎に基本に忠実な解説を行い、実務では重要なポイントでありながら民事訴訟法の基本書ではあまり詳細に記述されることの少ない釈明権、主張自体失当、書証の取扱い、弁論の全趣旨等について、とくに詳しく記述されています。

民事訴訟のエキスが詰まった本書は、実務に携わる裁判官、とりわけ新任の簡易裁判所判事にとっては直ぐに役立つ解説書として必携の資料となっています。また、弁護士、司法書士等法曹関係の方々にとっても、執務上、有用な書となっています。

目次(抄)

第1編 民事訴訟の基礎	第3章 弁論の終結	第4編 簡易裁判所の特則
第1章 民事訴訟の原則	第1 弁論の終結	第1章 簡易裁判所の特則
第1 訴権	第2 弁論の再開	第1 簡易裁判所の事物管轄
第2 当事者主義	第4章 訴訟の終了	第2 手続の特色
第3 弁論主義	第1 訴えの取下げ	第3 口頭による訴えの提起
第4 口頭主義	第2 請求の放棄及び認諾	第4 訴えの提起において明らかにすべき事項
第5 直接主義	第3 訴訟上の和解	第5 証人等の陳述の調書記載の省略等
第2章 訴え	第4 終局判決	第6 和解に代わる決定
第1 移送	第5章 判決起案	第7 準備書面の省略等
第2 訴え	第1 当事者、代理人等の表示	第8 続行期日における陳述の擬制
第3 訴訟要件	第2 主文	第9 尋問等に代わる書面の提出
第4 訴えの提起	第3 事実	第10 司法委員
第5 訴えの変更	第4 理由	第11 判決書の記載事項
第6 反訴	第5 更正決定	第2章 少額訴訟
第2編 民事訴訟の審理	第3編 事件類型別の留意点	第1 少額訴訟手続の特徴
第1章 訴訟の審理	第1 売買代金請求事件	第2 少額訴訟の申立て
第1 口頭弁論期日	第2 貸金請求事件	第3 少額訴訟の審理
第2 訴訟指揮権	第3 保証債務履行請求事件	第4 少額訴訟判決
第3 口頭弁論の実施	第4 損害賠償請求事件	第5 少額訴訟判決に対する異議
第4 当事者の訴訟行為	第5 不当利得返還請求事件	第3章 判決書例
第2章 証拠調べ	第6 消費者契約法が問題となる事件	事項索引
第1 証拠	第7 特定商取引法が問題となる事件	条文索引
第2 証拠調べ手続		判例索引